

## 学校図書館資源共有ネットワーク

狛江市立中央図書館 編



実践事例	
1	<b>対象(年齢・学年)等</b> : 市内小・中学校、学校図書館
2	<b>実施時期</b> : 通年
3	<b>概要</b> : 主に学校図書館を窓口とした連携に努め、市内の図書館資料を全体で有効活用することを目指した取り組み。
4	<p><b>内容</b></p> <p>① 物流支援                      図書館資料の協力貸出や学校間の相互貸借にも利用できる学校図書館専用の配送便を週2回運行している。また、通常の貸出の他に、調べ学習や郷土学習に対応した資料セットや学級文庫用図書の貸出も行う。廃棄図書のリサイクル配布なども共同して実施している。</p> <p>② 情報支援                      図書館ホームページやEメール等を活用した情報交換を行う。資料セットの準備や推薦図書選定に関する意見交換、休業期間中の課題調査を行い、特別貸出コーナーの設置なども行う。</p> <p>③ 人的支援・交流                      連絡協議会の出席や学校訪問による学校図書館の書架整備に関する助言などを行う。他に、学校からの依頼に応じて、施設見学や職場体験の受け入れを行っている。</p>
5	<p><b>参加者の反応</b></p> <p>平成14年度に物流便を開始する以前は、各学校の教員や学校司書が多くの資料を運搬することに労力を費やしていたが、この手間が軽減され、各学校図書館の整備に取り組むことができた。このことで蔵書が更新され、児童・生徒及び教職員の利用が伸び、ますます学校における学校図書館の役割が重要なものとなった。夏期休業期間などに市立図書館に来館する児童・生徒の資料探索や利用の仕方にも良い変化が見られるようになった。</p>
6	<p><b>連携した諸機関</b></p> <p>教育部学校教育課（学校図書館施設、学校司書に関する所管課）                      教育部指導室（学校図書館運営、司書教諭に関する所管課）</p>